

《報 告》

医工連携研究における看護系研究者の役割

太田美智男

椋山女学園大学看護学部

要 旨

産学連携は大学の重要な使命の一つとして近年認識されてきた。その中で医工連携による医療機器開発は、工学の最先端技術を医療に導入して医療の発達に貢献するものとして期待される。しかしこれまで日本で行われてきた医工連携プロジェクトの多くは成功したとはいえない。その理由と問題点を列挙し考察した。それに基づいて問題点を克服する方策を提案した。特に医工連携開発研究にはニーズの把握が最も重要であり、また実際に医療に用いて評価しなければならないが、それらの問題解決には患者に近いところにいる看護系研究者の参加が必要である。また、医工連携による新製品開発の過程における障害として「死の谷」と「ダーウインの海」をあげ、その困難を乗り越える方策について考察した。

キーワード：医工連携、医療機器、死の谷、ダーウインの海